

ひょうご五国撮り旅

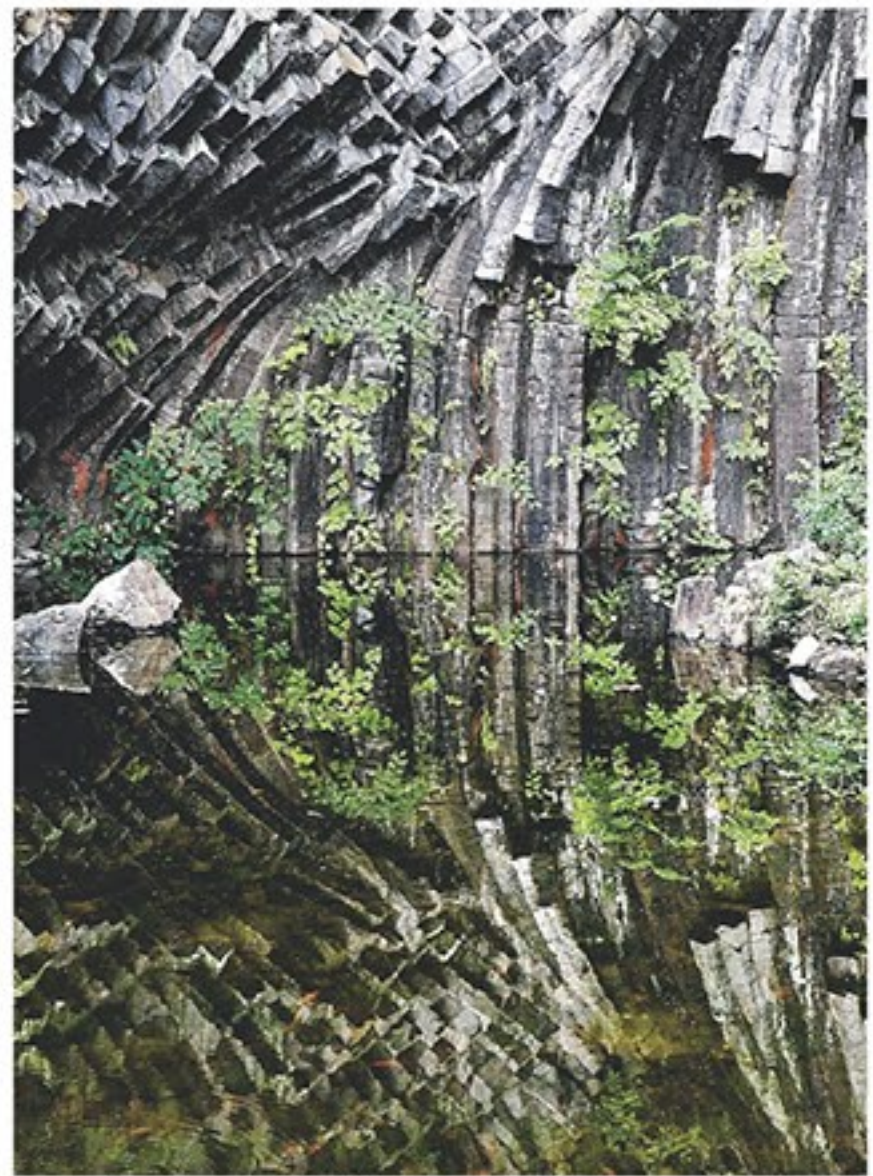
160万年前に起こった火山活動で噴出したマグマが固まり、六角形の柱状に規則正しい割れ目を作り出した溶岩です。その後、人々が採掘し周辺地域では家の石垣や庭石などの石材として使われていました。

五つの奇岩洞の中でもメインの撮影ポイント

玄武洞

奇岩が織りなす雄大美

は、中国の妖獣「玄武」を連想し命名された「玄武洞」。最も大きな洞窟で、人工ではできない自然の彫刻が神秘的です。その他に「青龍」「白虎」「南朱雀」「北朱雀」があり、それぞれの岩石に個性があり、蜂の巣や竜の腹、亀の甲のように見えるので、すべてをカメラに収めたいスポットです。



ため池に映る青龍洞。公園内のなかでも特に美しい岩石



壮大な歴史ロマンを感じる玄武洞は写真映え抜群のスポット＝豊岡市赤石

但馬の文化の中心として栄えた芝居小屋「出石永楽館」は、1901(明治34)年、出石城下に開館。明治—大正時代は歌舞伎興行が中心で、45(昭和20)年以降は映画上映が中心でしたが、テレビの普及などにより64(同39)年に閉館します。

出石永楽館

明治の舞台装置今に

レトロ看板など閉館時のまま残されています。楽屋などの「舞台裏」や奈落に設置されている廻り舞台装置がある「舞台」も、「レトロ看板」など撮影スポットは満載です。さらに同館ガイドによる劇場案内や地元のアマチュア落語家によるミニ落語鑑賞も楽しめます。



撮影と落語が楽しめる出石永楽館＝豊岡市出石町



奈落に設置されている廻り舞台装置

「古事記」「日本書紀」にも登場する城下町・出石。豊岡市出石伝統的建造物群保存地区の名称で国の重要伝統的建造物群保存地区として選定されています。周辺には「辰鼓楼」「出石永楽館」「出石城跡」「おりゅう灯籠」「出石明治館」など撮影ポイントも豊富で、シャッターを押す機会も増えるでしょう。有名なお土産は、地元の飲食店や、地元野菜や銘菓のお土産店が数多く点在しているため、季節のいい秋の散策にぴったりです。

出石伝建地区

城下町の姿面的に保存



飲食店やお土産店が立ち並ぶ大手前通り＝豊岡市出石町

出石酒造 赤い土壁 老舗酒蔵

創業した老舗酒蔵です。代表銘柄「赤土鶴(ささづる)」は、酒の別名「ササの露」と、出石藩主・仙石公の別荘「桑々園」に由来する純米酒です。ツアー1日目は日本酒の試飲や買い物、出石の歴史の説明などが楽しめます。☎0796・52・2222



赤い土壁が特徴の出石酒造＝豊岡市出石町

1925(大正14)年の北但大震災の震災復興建築として建てられた、旧兵庫縣農工銀行豊岡支店を改装したレストラン。レトロな雰囲気が残っており国の登録有形文化財に登録されています。地元但馬の食材にこだわった本格派フレンチの「前菜」「スープ」「メイン」「デザート」「食後の飲み物」のランチコースが味わえます。☎0120・210・289

オーベルジュ豊岡1925 レトロ建築でフレンチ堪能



地元の肉や野菜を使ったランチコース＝豊岡市中央町

第9回 但馬 10月15、21日 写真術プロが手ほどき

兵庫県内を巡る日帰り撮影バスツアー「ひょうご五国撮り旅 第9回但馬編」を10月15、21日に実施します。今回は「奇岩が織りなす玄武洞と出石城下町」です。「玄武」「青龍」「白虎」「南朱雀」「北朱雀」と五つの奇岩洞は、壮大な歴史ロマンを感じさせます。昼食は旧兵庫縣農工銀行豊岡支店を改装したフレンチレストラン「オーベルジュ豊岡1925」で、地元食材にこだわった料理を用意。さらに出石城下町の散策や出石永楽館のミニ落語鑑賞・見学、出石酒造での試飲・買い物などが楽しめます。

ツアーはミントクラブと神戸新聞旅行社の合同で開催する年間企画。毎回、神戸新聞社のカメラマンを講師に迎えた写真撮影旅行です。

今回の撮影スポットは国の天然記念物に指定され、山陰海岸ジオパークの認定を受けた「玄武洞」と、古い町並みが残る「出石城下町」です。長い年月をかけ波の浸食により地表に現れた貴重な自然遺産の玄武洞は、レンズを向ける方向によって違う姿が写し出されます。

昼食はJR豊岡駅から徒歩8分に位置する「オーベルジュ豊岡1925」。国の登録有形文化財に登録されています。肉や野菜など地元の旬の食材をふんだんに使ったランチコースが味わえます。

出石城下町は有名な「辰鼓楼(しんごろう)」や近畿最古の芝居小屋「出石永楽館」、「出石城跡」「おりゅう灯籠」など、町のあちこちに歴史の足跡が残っており、ゆっくり散策しながら撮影を楽しむことができます。飲食店やお土産店が立ち並んでいるので、食べ歩きやお土産選びも旅の楽しみのひとつです。

実施日
2019年10月15日(火)、21日(月)

旅程
神戸発(7時半)、姫路発(8時40分)
→玄武洞(自然が創った大彫刻、五つの奇岩洞を見学)
→昼食「オーベルジュ豊岡1925」
→出石城下町を散策
芝居小屋「出石永楽館」でミニ落語鑑賞(約15分)・舞台裏の見学
→「出石酒造」試飲・買い物
→各地着(18~19時)
*帰着は予定時刻であり交通状況により前後する場合があります。ご了承ください。

旅行代金
1万2800円(大人ひとりさま)
*ミントクラブ会員は当日、車中で会員証を提示すると200円のキャッシュバックがあります。

受け付け・問い合わせ
神戸新聞旅行社(日・祝休み)
☎078・362・7174
9時半~17時(平日)、9時半~13時(土曜日)